

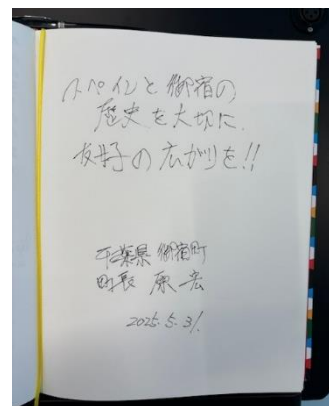
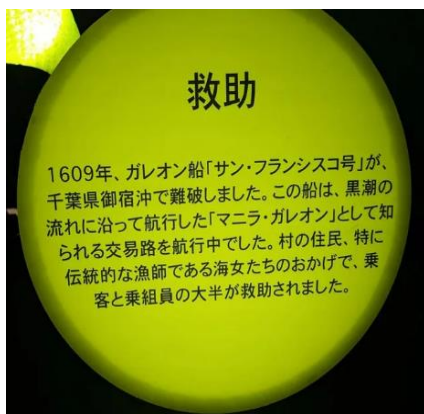
スペイン国上院議員友好グループ御宿町来訪報告

去る令和7年6月5日、大阪・関西万博の視察のため来日中であったマロト第一上院副議長をはじめとするスペイン国上院議員友好グループの皆様が、パラシオ駐日スペイン大使とともに、国内最後の訪問地として御宿町を訪問されました。

4月16日、御宿町に一本の電話があり、東京在住で、日頃から御宿町をよく訪れている方から「大阪万博のスペインパビリオンで1609年の史実についての展示があり、御宿町の名前も船の写真とともに紹介されていたので、是非町長にお伝えしたかった。まだ会期中なので、機会があれば訪問を」とのご連絡がありました。

4月25日にスペインおよびメキシコ大使館を表敬訪問し、スペイン大使館では、万博での展示に関する話題が広がり、期間中にスペインパビリオンを訪れたい旨をお伝えしたところ、後日、万博への招待状を頂戴いたしました。その後、同席されていたゴメス公使参事官のご尽力により、今回の視察訪問が実現する運びとなったものです。

6月5日の公式来訪に先立ち、認識の深化と歓迎準備の一環として、5月末に万博会場を訪れました。スペイン館入館時には記念帳にサインをし、谷口香織館長が自らご対応くださり、展示の詳細なご説明を頂きました。パビリオン内に入ると、右手側に見えるガレオン船の模型。そして、「救助」の文字。日本とスペインの友情を育むきっかけとなった1609年のサン・フランシスコ号遭難救助の史実がイラストと共に紹介されています。SNS等でも、この展示を通じて初めて史実を知った方からの声が多数寄せられています。



(スペイン館にて)



写真提供：Spain Pavilion, Acción Cultural Española (AC/E)

また、記念品として、記念カップと特別記念版冊子『ガレオン船サン・フランシスコ号の物語』（600 部限定シリアルナンバー入り、筆者直筆サイン付〔133 番〕）を頂戴しました。これらは現在、御宿町役場内に展示しております。

万博訪問は、スペインと日本のつながり、過去、未来について認識を新たにし、御宿町の歴史的意義を改めて感じる、大変有意義な時間となりました。



（頂いた記念品）

6 月 5 日はすっきりと晴れ、御宿町役場で私ほか町議会議員、御宿町国際交流協会、御宿町観光協会、御宿町商工会の関係者一同で、スペイン国上院議員友好グループとパラシオ駐日スペイン大使を心から歓迎いたしました。



（役場前での歓迎）

庁舎レセプションルームで懇談の場を設けて、御宿町の紹介や交流を行いました。

その中で、友好グループを代表してマロト上院議員第一副議長より「あたたかい歓迎に感謝している。今回の訪日では国会議長や政府の要人とも会談したが、今日は友情という面での特別な日となった。日本との友情を大切にしたいと思っている」と言葉をいただきました。



（レセプションルーム歓談）

交流を深めた後は、上陸地である田尻海岸、日西墨三国交通発祥記念之碑をご案内し、月の沙漠記念館、御宿海岸の散策を楽しんでいただきました。



（上陸地田尻海岸）



（日西墨三国交通発祥記念之碑）



（月の沙漠像）

約5時間という短い滞在ではありましたが、世界に誇る御宿町とスペインとの友好の絆が一層深まりました。今後もこの友好関係を大切に、両国の交流文化がさらに発展できるよう推進してまいります。



(議場にて)